

(概要版)

第4次 江南市総合計画



「水と緑を生かし 愛と活力あるまち 江南」をめざして
江南市

ごあいさつ

本市は、市政運営の指針として総合計画を策定し、市民生活の向上と、市勢の発展をめざして諸施策を推進し、市民の皆さまのご理解とご協力のもと、その成果を収めてまいりました。

このたび、「第3次江南市総合計画」が目標年次に到達したため、これまでの成果を踏まえるとともに、現状と問題点及び課題を整理しつつ、江南市の未来を創造した「第4次江南市総合計画」を、市民皆さまのご参画のもとに策定いたしました。

この計画は、間近にせまる21世紀を展望しつつ、バブル経済崩壊等社会情勢の大きな潮流の変化に対応し、拡張型まちづくりから成熟型まちづくりへの発想の転換を図り、市民の皆さまが、真の豊かさを実感できるまちづくり、環境にやさしいまちづくりなど、今後のまちづくりの基本理念を「生活環境創造都市」と定め、「水と緑を生かし 愛と活力あるまち 江南」を将来像に、総合的・計画的に諸施策の基本方針を定めたものであります。

今後、10年間、本市は、この将来像の実現をめざし、全力を挙げてまちづくりを進めてまいります。計画の遂行にあたりましては、市民の皆さまの深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、この計画策定にあたり、市民アンケートにご協力をいただきました市民の皆さまをはじめ、慎重なご審議をいただきました江南市議会議員、江南市総合計画審議会委員の皆さま並びに関係各位に対しまして、心からお礼申し上げます。

平成8年3月

江南市長 大池良平



総合計画とまちづくり

●総合計画策定の背景と意義●

江南市は、清流木曾川南岸にひらけた濃尾平野に位置し、戦国時代には信長、秀吉など戦国武将が青春を過ごした地で、恵まれた自然、歴史とロマンにあふれるまちです。肥沃な土地が支える農業と、繊維産業が発達し、名古屋市近郊の住宅都市として順調な発展を遂げてきました。

現在、本市をとりまく状況は多様化しています。生活の質的な豊かさ重視への市民意識の変化、高齢化や地球環境問題といった社会経済の流れの変化、市民生活の広域化など、今後対応すべき課題は少なくありません。

来るべき21世紀に向けて、市民のニーズに応じた個性あるまちづくりを進めるために、市民の総意に基づく本市の将来展望を明らかにし、より豊かな市民生活の実現に向け地域が一体となって新たな時代をひらく努力が必要です。

この総合計画は、限られた財源を計画的・効率的に活用し、市民の積極的参加のもとにまちづくりを進めるため、本市が将来めざすべき方向を示した「まちづくりの指針」として策定しました。

●総合計画の構成と期間●

■基本構想

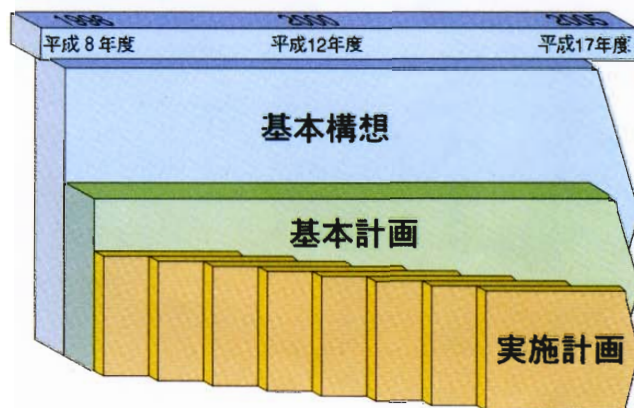
基本構想は、長期的展望にたつて、まちづくりの将来像や基本目標、基本指標を示すものです。平成17年度を目標年度とします。

■基本計画

基本計画は、基本構想で描かれた理念を実現するために、各分野において実施すべき個別の計画のあり方について、具体的に示すものです。平成8年度から平成17年度までの10か年を計画期間とし、中間年度を基本に見直しを行うものとします。

■実施計画

実施計画は、基本計画を具体化するために、それぞれの事業・施策の実施において、事業内容、事業費などについて年度別に示すものです。社会動向、市民ニーズなどに対応し3か年の計画を毎年改定しながら進めます。



江南市の将来像と基本目標

●基本理念と将来像●

成長を前提とした「拡張型まちづくり」から、市民生活の充実や環境共生をめざした「成熟型まちづくり」が求められる社会において、市民一人ひとりが真の豊かさや安心感が享受でき、生きがいが実現できるような社会環境の形成にフレキシブルに対応するため、本市における今後のまちづくりの基本理念を「生活環境創造都市」とします。

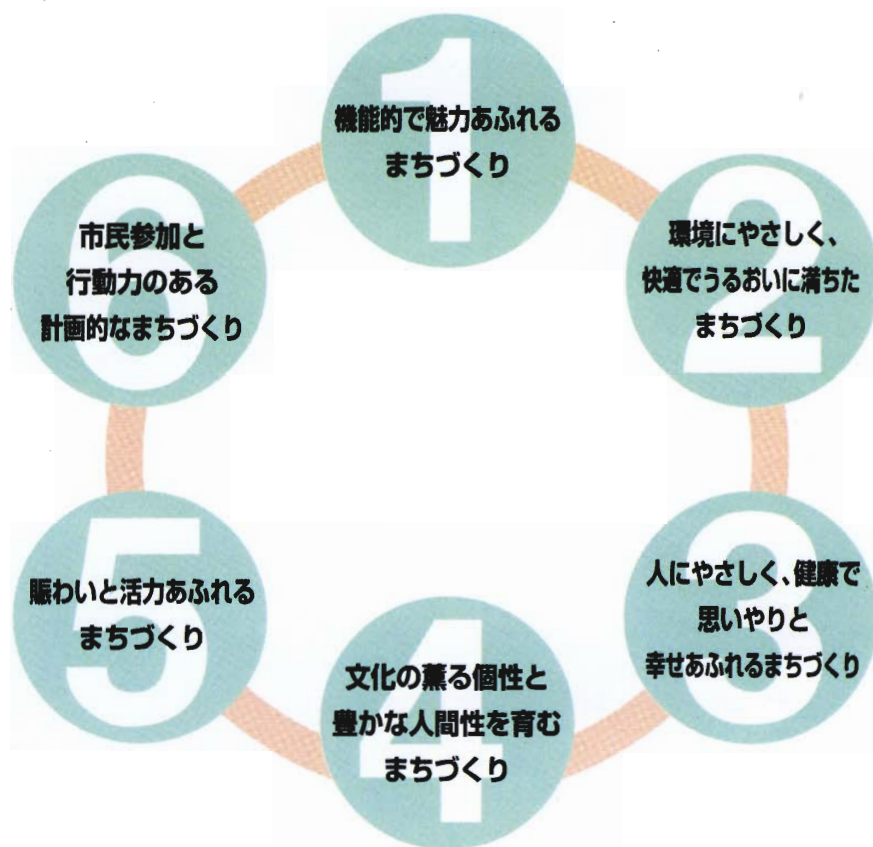
快適で住みやすい都市環境を創造することによって、だれもが住みたくなるような魅力ある都市形成をめざすために、まちづくりの基本理念を踏まえた本市の将来像を「水と緑を生かし 愛と活力あるまち 江南」とします。

生活環境創造都市
水と緑を生かし 愛と活力あるまち 江南



●まちづくりの基本目標●








基本理念と将来像が示す将来の江南市を実現するためには、それぞれの分野で達成すべき目標をかかげ、市民と行政が協力してまちづくりに取り組むことが必要です。この計画では、次の6つの目標を「まちづくりの基本目標」として位置づけます。

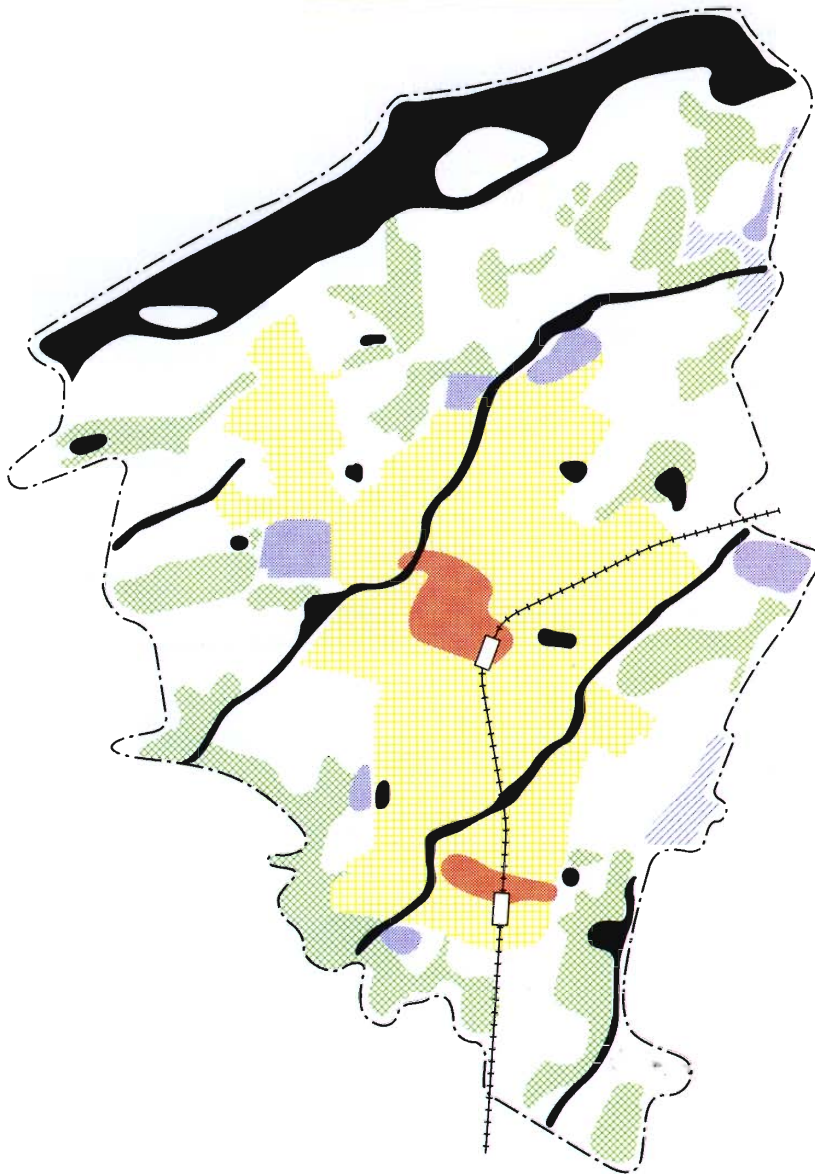


土地利用構想

土地利用構想は、調和のとれた快適で魅力あるまちづくりに向けて、計画的な土地利用を図るための基本的な方向性を示すものです。本市の自然条件や地理的条件、現在の土地利用の実態を踏まえながら、めざすべき将来像の実現を図るために、次の7つの区域区分を設けました。

<凡例>

1		中心市街地整備区域
2		住宅市街地整備区域
3		工業整備区域
4		工業誘導区域
5		集落環境整備区域
6		農地保全区域
7		緑地保全活用区域



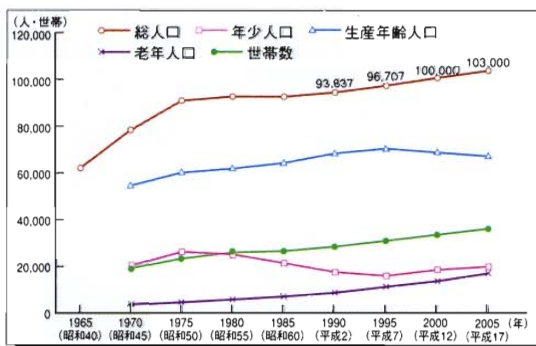
まちづくりの基本指標

地域社会を構成する住民の総数や年齢構成、就業構造などは、社会構造の基本となる重要な指標です。今後の社会の構造変化を考えるために、この総合計画が達成される平成17年度のめざすべき本市の姿として、計画の枠組みとなる基本指標を予測しました。

●将来目標人口●

社会増加の伸び率の安定化や出生率の低下などにより大幅な人口増加はないものの、今後もゆるやかに増加傾向が続くと考えられます。平成17年には総人口は103,000人になると予測されます。

■人口推移と将来予測



■年齢別人口構成 推移と将来予測

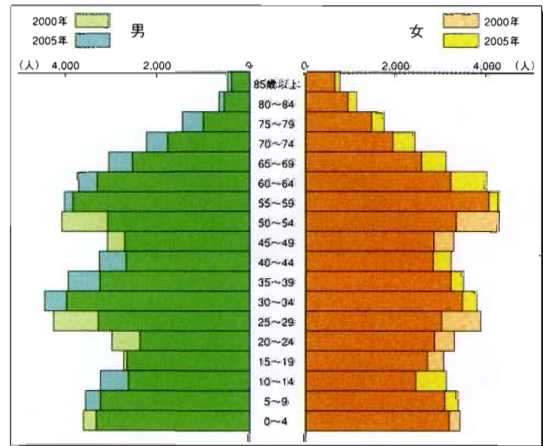
年	総数	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)
昭和45年		19,973	54,145	3,878
1970	77,996	25.6	69.4	5.0
昭和50年		25,818	59,660	4,921
1975	90,426	28.6	66.0	5.4
昭和55年		24,729	61,336	6,069
1980	92,141	26.8	66.6	6.6
昭和60年		21,037	63,670	7,302
1985	92,049	22.9	69.2	7.9
平成2年		17,249	67,716	8,872
1990	93,837	18.4	72.2	9.5
平成7年		15,651	69,734	11,322
1995	96,707	16.2	72.1	11.7
平成12年		18,214	68,074	13,712
2000	100,000	18.2	68.1	13.7
平成17年		19,548	66,468	16,984
2005	103,000	19.0	64.5	16.5

※年齢不詳は総数に含む

●年齢別人口●

少産・低出生率による少子化、平均余命の伸びなどから人口の高齢化が進展しています。平成17年には老年人口（65歳以上）の比率は16.5%になると予測されます。

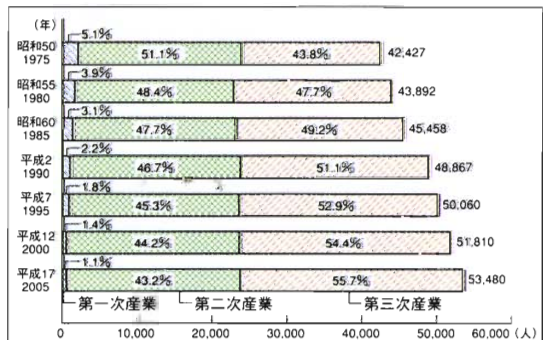
■男女別



●産業別就業人口●

第一次産業は今後も減少が続き、第二次産業は若干増加、第三次産業は増加傾向にあります。平成17年には就業人口は53,480人になると予測されます。

■産業別



主要プロジェクト

21世紀に向けた新しいまちづくりを戦略的・計画的かつ総合的に進め、江南市の将来像を実現するために、先導的・重点的に実施すべきシンボリックな事業を、「マイタウン江南2005」というキャッチフレーズのもと、主要プロジェクトとして位置づけます。

マイタウン江南2005

人と自然にやさしい快適環境づくり 【アメニティ江南-エコトピア構想】

地球環境の保全と豊かな自然生態系の中で快適に生活できる、持続可能で環境に配慮した循環型社会システムと新しいライフスタイルの確立に向け、身近な環境づくりに関する諸施策を実施します。

- 国営木曾三川公園尾張北部緑地江南拠点（花卉園芸植物園）の整備促進
- 「水と緑のネットワーク」による市内に残る貴重な自然環境の保全
- 下水道事業の推進など

1



生きがいと安心の社会基盤づくり 【いきいき江南-ウェルネス構想】

生涯にわたって心身ともに健康で生きがいをもって豊かに暮らせる、助け合いとふれあいのある地域社会の形成に向け、保健・医療・福祉に関する諸施策を実施します。

- 保健・医療・福祉の相互連携による総合的な保健・福祉施策の推進
- 生きがいづくりや健康づくりの推進
- 豊かな心を育てる教育の推進など

2



賑わいと魅力あふれる都市拠点づくり 【アクティブ江南-ツインコア構想】

本市の都市機能の向上を図るため、江南駅周辺地区を本市・尾張北部地域の都市核として、布袋駅周辺地区を本市のサブ的な都市核として2つの核を位置づけ、都市拠点整備に関する諸施策を実施します。

- 鉄道高架事業の推進
- 江南・布袋両駅東西の駅前広場の整備
- 江南布袋南部土地区画整理事業の推進など

3

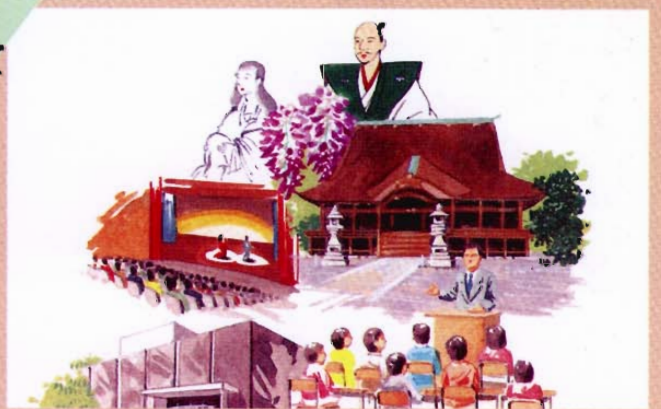


交流と文化創造の拠点・人づくり 【クリエイティブ江南-インテリジェンス構想】

市民のゆとりと自己実現の充足のため、既存の拠点施設や「武功夜話」といった地域資源を生かし、市民がこころ豊かに暮らすことのできる社会環境の整備と新たな市民文化の形成に関する諸施策を実施します。

- 新図書館の建設
- 「武功夜話」によるふるさとづくり
- 国際交流・国際平和の推進など

4

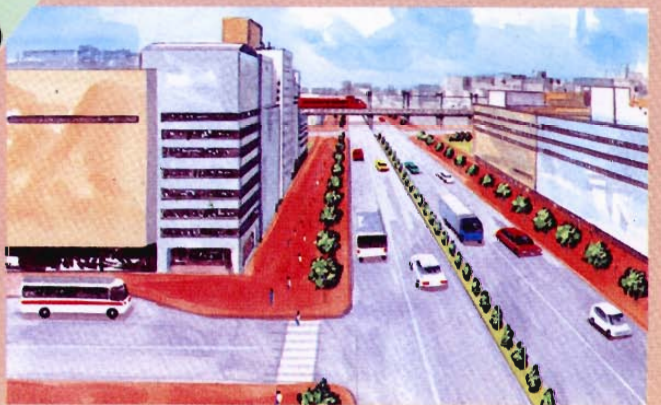


安全でスムーズな交通ネットワークづくり 【らくらく江南-ハイアクセシビリティ構想】

都市の機能を十分に発揮させ、市民生活の安全性・利便性・快適性を高めるために、交通網の整備により市内の交通を円滑にする、道路交通、公共交通の整備に関する諸施策を実施します。

- 都市骨格道路網（市内幹線道路網、特に環状線）の整備
- 人にやさしい道づくり、福祉の道の推進
- バス路線網の拡充と鉄道の輸送力の充実など

5

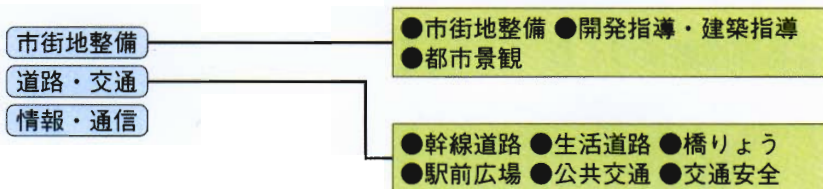


施策の大綱

江南市の将来像である「水と緑を生かし 愛と活力あるまち 江南」を実現するために、「まちづくりの基本目標」に沿って、各種の施策を推進します。

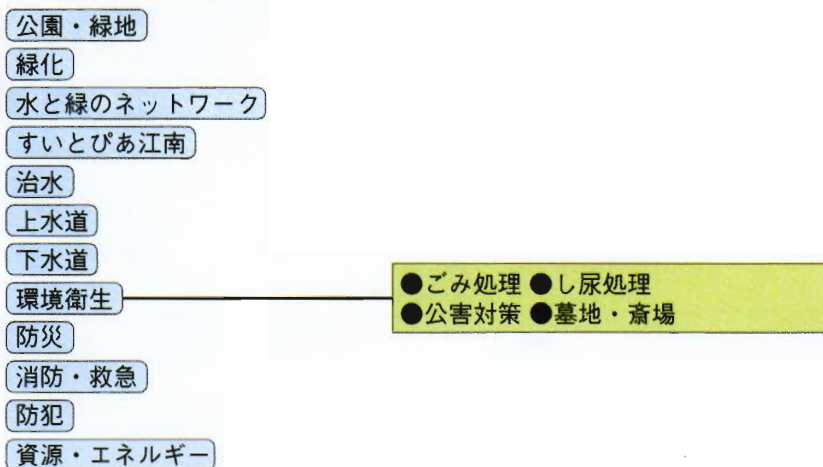
1 機能的で魅力あふれるまちづくり

安全で暮らしやすく魅力のあるまちづくりに向けて、市街地や道路・交通網の整備を図るとともに、生活のメディア、生産基盤として高度情報化社会に対応した情報・通信基盤の活用を調査研究します。



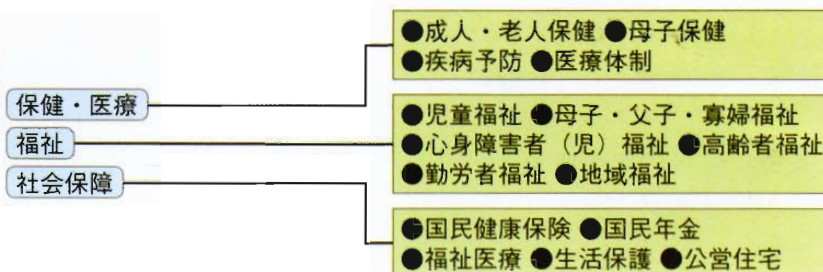
2 環境にやさしく、快適でうるおいに満ちたまちづくり

快適な地域づくりに向けて、公園・緑地の整備を進めるなど市民の協力のもと都市緑化、水と緑のネットワークの形成、すいとびあ江南の活用、水循環を意識した治水事業などを推進します。また、上・下水道の適切な整備と運営、環境衛生の確保に努め、万一の際の防災、消防・救急体制の充実、防犯に努めます。さらに資源・エネルギーを大切に社会を構築します。



3 人にやさしく、健康で思いやりと幸せあふれるまちづくり

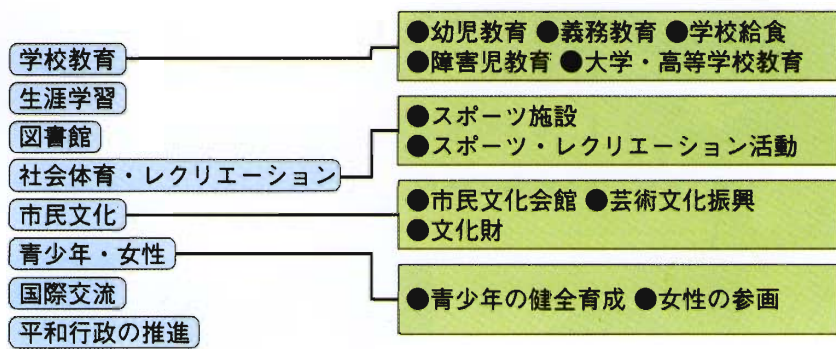
全ての市民が健康で快適に生活できるよう、保健・医療体制を充実します。また、保健・医療体制と連携をとりながら、来るべき高齢社会に向けて福祉制度の充実を図ります。さらに、安心して暮らせる社会をめざして社会保障体制の充実を図ります。



4

文化の薫る個性と豊かな人間性を育むまちづくり

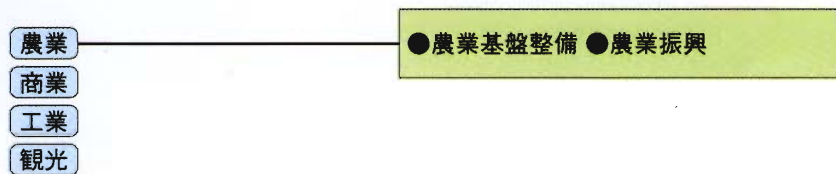
健全な児童・生徒を育むために学校教育を充実するとともに、余暇時間の増加に応じた生涯学習やスポーツ・レクリエーションの機会の創出、地域に根ざした創造的な文化活動の振興を図ります。また、青少年の夢を育て、国際的で世界平和に貢献する都市づくりを図ります。



5

賑わいと活力あふれるまちづくり

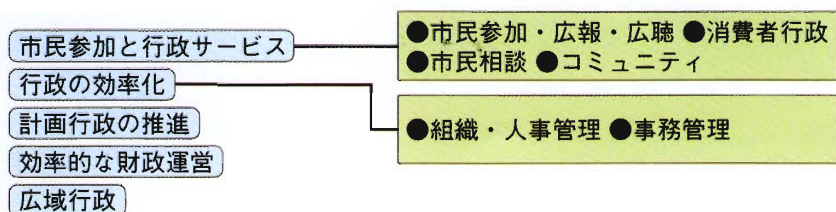
産業基盤の整備、生産効率の向上、優良な事業者の育成など農業・商業・工業の振興を図ります。また、「武功夜話」など特色ある地域資源の研究・活用を図り、観光による地域間交流を促進します。



6

市民参加と行動力のある計画的なまちづくり

行政運営への市民参加を積極的に図るとともに、市民生活の安定を図るため各種の行政サービスの充実を図ります。また、限られた財源を有効に活用するために行政の効率化を進め、計画行政の推進、効率的な財政運営、広域行政の推進を図ります。



江南市民憲章

(昭和49年6月1日制定)

わたしたちの江南市は、木曾の清流にはぐくまれた広やかな濃尾平野の北部にあり、伝統にかがやく産業と文化のまちです。わたしたちは、この江南市を愛し、市民であることに誇りと責任をもっています。

このまちを、さらに明るく住みよい豊かなまちへの願いをこめてこの憲章を定めます。

わたしたち、江南市民は

1. 自然を愛し、美しいまちにしましょう
1. 心のかよう、温かいまちにしましょう
1. 健康につとめ、明るい豊かなまちにしましょう
1. きまりを守り、住みよいまちにしましょう
1. 教養を深め、文化の高いまちにしましょう



●市章

「コウナン」の文字を図案化し、江南市政の融和と産業都市としての一大飛躍発展を表象したもので、昭和30年3月1日に制定されました。



●市の木ーくろがねもち

枝は黒みをおび、葉は互生した楕円形の常緑高木です。自然の美を生かした緑化推進を願って、昭和48年12月7日に制定されました。



●市の花ーふじ

古くから鑑賞用植物とされ、万葉集にも歌われています。市民に幅広く親しまれると共に美化運動の推進を願って、昭和48年12月7日に制定されました。

第4次江南市総合計画概要版

平成8年3月

発行／愛知県江南市 編集／市長公室企画課

・この概要版は再生紙を使用しています。